

平成29年度 施策評価シート（評価対象：H28年度）

【1. 施策名】

施策コード	441-02	基本施策	スポーツを軸としたまちづくりの推進	所管部局	文化スポーツ振興部
施策名	競技スポーツの振興			主担当課	スポーツ課
				関係部局課	保健福祉部
施策の目標	トップレベルの競技スポーツにふれる機会の充実や選手強化への支援などにより、競技力の向上とスポーツ活動への関心を高める競技スポーツの振興を目指します。				

【2. 施策に取り組む理由】

施策目標に対する市民ニーズの傾向及び、施策目標の達成に向けた市の役割など

○オリンピックやパラリンピックの開催により大規模なスポーツ施設が整備されており、それらの有効活用とともに、各種スポーツの競技力の向上と冬季スポーツの一層の振興を目指す。

【3. 施策指標】

施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値 (H22)	実 績					目標値 (H28)
			H24	H25	H26	H27	H28	
全国大会参加可能種目数に占める長野市チーム・選手の出場種目の割合	%	30.4	28.1	28.7	24.8	24.3	集計中	31.0
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
市体育協会加盟団体を対象とした調査（全国大会に出場した種目数÷全国大会の参加可能種目数の合計×100）	市民の競技力向上を図り、全国大会の参加可能種目における長野市チーム・選手の出場種目を増やす。							
施策指標（成果を示すもの）	単位	基準値 (H22)	実 績					目標値 (H28)
			H24	H25	H26	H27	H28	
指標の定義	目標値のねらい（設定根拠・算定方法）							
28年度の 取組内容 実績	<ul style="list-style-type: none"> ○長野市スポーツ協会が実施する競技力向上事業及びスポーツ指導者育成事業を支援するため負担金を交付した。 ○長野マラソンやISUワールドカップスピードスケート競技会等国際大会及び全国大会に負担金等を交付した。 ○全国中学校スケート大会（平成19年度から15年間長野市で連続開催）を実施した。 ○ナショナルトレーニングセンター競技別強化拠点施設の指定を活かした選手強化や競技の普及を行った。 ○スピードスケートの専門家によるジュニア選手の指導や県が実施しているタレント発掘事業に協力した。 ○全国大会出場者へ激励金を交付した。 							

【4. 総合評価】

総合評価（目標値に対して）	概ね順調	集計中	%
	評価の理由・説明等		
適応性 市民ニーズや社会経済状況の変化に柔軟に対応しているか	ながの夢応援基金を活用して長野マラソンやスピードスケートの国際的な大会及び全国的な大会を開催し、トップレベルの競技に触れる機会を設けるとともに、スポーツによる地域振興や情報発信を行っている。		
達成度 施策の目標達成に向けて順調に進んでいるか	全国大会参加可能種目数に占める長野市チーム・選手の出場種目の割合は目標値には達していません。全国中学校スケート大会では長野市の出場選手も年々増加し、優勝者を輩出したり、入賞者が多数いる等冬季競技の拠点づくり事業の効果が現れている。観客数は学校観戦が国体と分散化したため昨年度よりも減少したが、目標を達成している。		
事業の成果等 施策を構成する事務事業は目標を達成しているか	概ね順調に事業を展開している。		

平成29年度 事務事業評価シート（評価対象：平成28年度）

整理No.

70-1

【1. 事業の概要】

基本施策名	441	スポーツを軸としたまちづくりの推進	担当部局	文化スポーツ振興部
施策名	441-02	競技スポーツの振興	担当課	スポーツ課
事業番号	10260	事業開始年度	年度	作成者（連絡先）
事業名	競技力向上事業（スポーツ協会負担金）			
事業内容	どうしてこの事業が必要なのか（原因、ニーズ） 競技力の向上、選手育成については、団体数が多く、種目が多岐に渡り、また、利害の調整が必要となるが、市が直接行うより、市スポーツ協会を通じて役割分担する方が効率が良い。			
	誰、何が対象なのか（対象） 市スポーツ協会に加盟する各競技団体及び競技スポーツをする市民			
	どのような事業を行うのか（概要） 市スポーツ協会へ負担金を交付する。			
	どのような成果を実現したいのか（成果、効果） 競技力の向上とスポーツ活動への関心を高めるための事業を市スポーツ協会が主体的に実施できるようになり、協会を起点とした競技スポーツ人口の拡大及び競技力の向上が図られる。			
	根拠法令等			

【2. 事業のコスト】

年 度		26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	特記事項
年間経費の推移	①事業費 (千円)	37,876	37,428	37,428	37,039	
	負担金補助及び交付金	37,876	37,428	37,428	37,039	
	②人件費概算 (千円)	739	739	739	739	
	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1	0.1	
	嘱託職員 (人)					
	臨時職員 (人)					
	③事業費計 ①+② (千円)	38,615	38,167	38,167	37,778	
	④特定財源 (千円)	102	0	55	133	
	国・県支出金				130.0	
市債						
その他	102		55	3		
⑤市負担額 ③-④ (千円)	38,513	38,167	38,112	37,645		

基本施策名	441	スポーツを軸としたまちづくりの推進	整理No.	70-1
施策名	441-02	競技スポーツの振興	担当部局	文化スポーツ振興部
事業名	競技力向上事業（スポーツ協会負担金）		担当課	スポーツ課

【3. 事業の成果】 評価ランク A:目標を上回る B:概ね目標どおり C:目標を下回る D:目標を大きく下回る

項目	単位	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度見込	
負担金の額	千円	目標	37,876	目標	37,428	目標	37,428	目標	37,039
		実績	37,876	実績	37,428	実績	37,428		
国体に出場する長野県選手団に占める長野市選手の割合	%	目標	20	目標	20	目標	20	目標	20
		実績	12	実績	13	実績	17		
達成状況の評価	達成状況、評価理由の説明								
B	市負担金を財源として、各競技の実情に応じた事業が着実に実施されている。								
概ね目標どおり									

【4. 事業の検証】

視点	評価	理由
事業の必要性 社会的要請や市民ニーズが高いものであるか	A 高い B あまり高くない C 低い	A 各競技団体において競技力の更なる向上と選手・指導者の育成を継続的に実施することが必要である。今後も、各競技団体が実施する事業を市スポーツ協会を通じて支援することが望まれている。
役割の妥当性 市の関与について、見直す余地はあるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	A 市は、長野市スポーツ推進計画において、積極的に競技力の向上と競技人口の拡大を推進することとしており、市が支援を実施することは妥当である。
事業の有効性 目標とする成果の達成に向けて改善、見直しを行う必要があるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	A 競技団体の実情を把握している協会に事業を担ってもらい、市が負担金を交付する体制は適切である。
方法の効率性 更なる効率化に向けて改善、見直しを行う必要があるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	A 事業費を精査したしたうえで負担金を支出しており、効率化が図られている。

【5. 今後の課題・方針】

課題	さらなる競技スポーツの拡大や競技力の向上に努めていく必要がある。	
方針	今後の方針	方針の理由、具体的な取組内容
	継続	「スポーツを軸としたまちづくり」を目指す中で、本事業が競技力の向上、競技人口の拡大に大きな役割を果たしていることから、今後も継続とする。

【6. 関連部局との連携・実施状況】

関連部局との連携・実施状況	連携・実施していない	関連部局との連携・実施の必要性	必要性なし

平成29年度 事務事業評価シート（評価対象：平成28年度）

整理No.

70-2

【1. 事業の概要】

基本施策名	441	スポーツを軸としたまちづくりの推進	担当部局	文化スポーツ振興部
施策名	441-02	競技スポーツの振興	担当課	スポーツ課
事業番号	10398	事業開始年度	年度	作成者（連絡先）
事業名	スポーツ拠点づくり推進事業			
事業内容	どうしてこの事業が必要なのか（原因、ニーズ） オリンピック・パラリンピックの有形無形の財産を継承し、長野市を冬季競技（スケート競技）の拠点として全国に発信したいが、スケート競技振興の中核を担う事業がない。			
	誰、何が対象なのか（対象） 競技大会の参加者、長野市民			
	どのような事業を行うのか（概要） （公財）地域活性化センターのスポーツ拠点事業の承認を受け、H19年度から10年間開催し、今年度から5年間についても長野市で開催する。 全国中学校スケート大会長野市実行委員会に対し負担金を交付する。			
	どのような成果を実現したいのか（成果、効果） 全国の青少年が「スケートの聖地」としてあこがれる拠点となる。 スケートによる交流人口の拡大と大会開催による経済効果など地域の活性化を図る。			
	根拠法令等 スポーツ基本法、長野市教育振興基本計画、長野市スポーツ推進計画			

【2. 事業のコスト】

年 度		26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	特記事項
年間経費の推移	①事業費 (千円)	24,889	26,100	24,275	24,674	
	使用料及び賃借料	1,889	3,100	1,275	1,674	
	負担金補助金及び交付金	23,000	23,000	23,000	23,000	
	②人件費概算 (千円)	13,734	13,734	13,734	13,554	
	正規職員 (人)	1.8	1.8	1.8	1.8	
	嘱託職員 (人)	0.2	0.2	0.2	0.2	
	臨時職員 (人)					
	③事業費計 ①+② (千円)	38,623	39,834	38,009	38,228	
	④特定財源 (千円)	23,000	23,000	23,000	23,000	
	国・県支出金					
	市債					
	その他	23,000	23,000	23,000	23,000	
	⑤市負担額 ③-④ (千円)	15,623	16,834	15,009	15,228	

基本施策名	441	スポーツを軸としたまちづくりの推進	整理No.	70-2
施策名	441-02	競技スポーツの振興	担当部局	文化スポーツ振興部
事業名	スポーツ拠点づくり推進事業		担当課	スポーツ課

【3. 事業の成果】 評価ランク A:目標を上回る B:概ね目標どおり C:目標を下回る D:目標を大きく下回る

項目	単位	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度見込	
大会記録等の更新	個	目標	1	目標	1	目標	1	目標	1
		実績	2	実績	2	実績	0		
観客数	人	目標	12,000	目標	12,000	目標	13,000	目標	13,000
		実績	13,117	実績	16,175	実績	14,382		
達成状況の評価	達成状況、評価理由の説明								
B	スピードスケートについては、長野市選手の活躍や入賞が年々増えており、競技力向上につながっている。フィギュアスケートについては、全日本選手権での上位入賞者が参加するなど、同世代のトップレベルの選手が参加するレベルの高い大会が開催されている。学校観戦が国体冬季大会との間で分散したため、前年度より観客数が減少したが、全体として目標を達成した。								
概ね目標どおり									

【4. 事業の検証】

視 点		評 価	理 由
事業の必要性	社会的要請や市民ニーズが高いものであるか	A 高い B あまり高くない C 低い	A 本大会は参加者、中体連、競技関係者から非常に高い評価を得ており、H33まで継続開催が決まっている。また、長野市内の宿泊、交通等関係事業者にとって比較的閑散期である時期に大きな経済効果をもたらしている。
役割の妥当性	市の関与について、見直す余地はあるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	A 本大会の準備、運営を行っている実行委員会は、長野県中学校体育連盟、長野県スケート連盟、長野市等の関係団体により構成されているが、各団体との関係は極めて良好であり、それぞれの役割を適切に果たして大会の準備、運営を行っている。
事業の有効性	目標とする成果の達成に向けて改善、見直しを行う必要があるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	A 競技の実施については、施設・競技運営とも国内最高レベルであり、成果も上がっている。
方法の効率性	更なる効率化に向けて改善、見直しを行う必要があるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	B 地域活性化センターの助成金がH29で終了するため、委託業務内容の見直しによる委託料の削減などを進め、運営収支のスリム化を図る必要がある。

【5. 今後の課題・方針】

課題	平成34年度以降の大会の継続開催について検討する必要がある。また、冬季競技振興基金の計画的活用を図り、大会運営のスリム化をする必要がる。		
方針	今後の方針	方針の理由、具体的な取組内容	
	継続	スケートの拠点としてのイメージがかなり定着し、市内のスケート競技レベルも年々向上している。観客の増加に向けての取り組みとして、大会の周知や学校観戦を含めた観戦の呼びかけ等広報を強化するとともに、特定財源である「ながの夢応援基金」の状況を勘案しながら事業を行っていく。平成34年以降の開催について中体連等関係者の意向を確認しながら検討する。	

【6. 関連部局との連携・実施状況】

関連部局との連携・実施状況	連携・実施している	関連部局との連携・実施の必要性	必要性あり
教育委員会		教育委員会	

平成29年度 事務事業評価シート（評価対象：平成28年度）

整理No.

70-3

【1. 事業の概要】

基本施策名	441	スポーツを軸としたまちづくりの推進	担当部局	文化スポーツ振興部
施策名	441-02	競技スポーツの振興	担当課	スポーツ課
事業番号	10310	事業開始年度	年度	作成者（連絡先）
事業名	国際競技大会等負担金			
事業内容	どうしてこの事業が必要なのか（原因、ニーズ）			
	オリンピック・パラリンピックの有形無形の財産を継承し、長野市で継続的に国際的・全国的な競技会等を開催することで大規模施設の活用とスポーツによる交流人口の拡大を図りたいが、各競技団体に十分な財源が無く、開催都市が経費を一部負担しないと大会の誘致が実現しない。			
	誰、何が対象なのか（対象）			
	競技会等の参加者及び長野市民			
	どのような事業を行うのか（概要）			
競技会等を主催する者に負担金・補助金を交付する。				
事業内容	どのような成果を実現したいのか（成果、効果）			
	国際大会等の大規模競技会を誘致開催が実現する。また市民のスポーツへの関心が高まり、交流人口が増加して地域活性化が進むとともに、トップレベルの大会を間近で観戦することにより競技スポーツが普及（競技者の増加）し競技力が向上する。			
根拠法令等	スポーツ基本法、長野市スポーツ推進計画、長野市教育振興基本計画			

【2. 事業のコスト】

年 度		26年度決算	27年度決算	28年度決算	29年度予算	特記事項
年間経費の推移	①事業費 (千円)	38,750	40,496	54,750	51,832	・特定財源（冬季競技振興基金の活用）
	負担金補助及び交付金	38,750	40,496	54,750	51,832	
	②人件費概算 (千円)	725	732	732	729	
	正規職員 (人)	0.1	0.1	0.1	0.1	
	嘱託職員 (人)					
	臨時職員 (人)					
	③事業費計 ①+② (千円)	39,475	41,228	55,482	52,561	
	④特定財源 (千円)	38,750	38,750	53,750	50,150	
	国・県支出金					
	市債					
	その他	38,750.0	38,750.0	53,750.0	50,150.0	
	⑤市負担額 ③-④ (千円)	725	2,478	1,732	2,411	

基本施策名	441	スポーツを軸としたまちづくりの推進	整理No.	70-3
施策名	441-02	競技スポーツの振興	担当部局	文化スポーツ振興部
事業名	国際競技大会等負担金		担当課	スポーツ課

【3. 事業の成果】 評価ランク A:目標を上回る B:概ね目標どおり C:目標を下回る D:目標を大きく下回る

項目	単位	26年度実績		27年度実績		28年度実績		29年度見込	
負担金の額	千円	目標	41,150	目標	48,064	目標	56,850	目標	51,832
		実績	38,750	実績	40,496	実績	54,750		
開催大会の数	件	目標	7	目標	7	目標	9	目標	10
		実績	5	実績	8	実績	9		
達成状況の評価	達成状況、評価理由の説明								
B	全日本アイスホッケー選手権など新たな大会の開催を含め、目標どおりの実績となった。								
概ね目標どおり									

【4. 事業の検証】

視点	評価	理由
事業の必要性 社会的要請や市民ニーズが高いものであるか	A 高い B あまり高くない C 低い	A オリンピック関連の大型施設が充実しており、今まで多くの国際的・全国的競技会等が開催され、運営ノウハウがあることなどから、長野市での開催を望む声がある。また、宿泊、飲食などで大きな経済効果をもたらしている。
役割の妥当性 市の関与について、見直す余地はあるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	A 市が負担金・補助金等により支援しなければ競技会等を開催することが困難となる大会が多い。
事業の有効性 目標とする成果の達成に向けて改善、見直しを行う必要があるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	B 競技会等の開催に際しては、出来る限り経費を節減しよう、また、冬季のスケート競技会においては観客数の増加を図るよう主催者に求めている。
方法の効率性 更なる効率化に向けて改善、見直しを行う必要があるか	A ない B 一部ある C 大幅にある	B 今後も多くの競技会等が継続開催されるよう、必要最小限の財政的支援に努める必要がある。

【5. 今後の課題・方針】

課題	長野オリンピック記念基金の枯渇に伴い、同基金を活用して行われていた競技会等を継続的に開催するため、H22年度に新たに長野市冬季競技振興基金を創設し、活用しているが、基金残高が減少している。今後も継続して国際的・全国的な大規模競技会等を開催するため、計画的に財政的支援をしていく必要がある。	
方針	今後の方針	方針の理由、具体的な取組内容
	継続	長野市で国際的・全国的な競技会等が継続的に開催されることは、大きな経済効果が期待されるとともに、競技者にとってはより上位を目指す意識が高揚するなど、競技力の向上と競技の普及が図られるため、財源となる冬季競技振興基金の状況を勘案しながら、計画的に支援する必要がある。

【6. 関連部局との連携・実施状況】

関連部局との連携・実施状況	連携・実施している	関連部局との連携・実施の必要性	必要性あり
企画政策部、商工観光部等		企画政策部、商工観光部等	